

整理番号 02060

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）

Antimony, Absorbent Metal

アンチモニー、アブソーバント メタル

販売者情報

会社

LECO ジャパン合同会社

住所

〒105-0014

東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号

住友不動産芝ビル 4 号館

担当

SDS 担当者

電話番号

(03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801

製造者情報

会社

LECO Corporation

住所

3000 Lakeview

St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

2. 危険有害性の要約

GHS 分類（銅）

物理化学的有害性 : 分類基準に該当しない

健康に対する有害性 : 特定標的臓器毒性（反復暴露）区分 2（呼吸器）

環境に対する有害性 : 分類基準に該当しない

ラベル要素

絵表示



注意喚起語： 警告

危険有害性情報： 長期または反復ばく露による呼吸器系の障害のおそれ

注意書き：【安全対策】

粉じん、ヒュームを吸入しないこと。

【応急措置】

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	:	化学物質
化学名	:	アンチモン
成分および含有量(wt%)	:	>99.85
化学式又は構造式	:	Sb
官報公示整理番号 化審法	:	対象外
安衛法	:	通知対象物質 38
PRTR 法	:	第 1 種 31
CAS No.	:	7440-36-0
国連分類及び国連番号	:	2871 (粉末の場合)

4. 応急措置

吸入した場合	ダストを吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移す。必要な場合酸素または人工呼吸を施す。気分が悪い場合には医師の手当てを受ける。
皮膚に付いた場合	水と石鹼で 15 分以上洗い流す。症状がひどくなる/長引く場合には医師の手当てを受ける。
目に入った場合	直ちに大量の水で十分洗眼する。症状がひどくなる/長引く場合には医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をよくすすぐ。直ちに医師に連絡する。意識がない者、けいれんを起こしている者には口から何も与えてはならない。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	眼への直接接触は一時的な刺激を起こすことがある。
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置及び症状に合わせた適切な治療を施す。温かくし、観察を続けること。症状が遅れて出ることがある。
その他の情報	医療スタッフが製品について知識があること、スタッフの保護にも注意する。

5.火災時の措置

消火剤	周辺火災に応じた消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	入手不可
火災時の特有の危険有害性	火災により有害なガスを発生するおそれがある。
消火を行う者の保護	火災時には自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。
特有の消火方法	未開封の製品を冷やすには水スプレーを使用する。
特別な手法	他の燃焼物を考慮した通常の消火方法を用いる。
一般的な火災危険性	異常な火災や爆発は起こらない。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護 具及び緊急時措置	関係者以外を退避させる。ばく露限界を超えるダスト/ヒュームにさらされる場合は認証済みの呼吸器を着用する。清掃中は適切な保護衣を着用すること。ダストを吸入しない。
封じ込め及び浄化の方法及 び機材	ダストの発生と蓄積を防ぐ。掃き集める、または掃除機で吸い取り廃棄に適した容器に集める。HEPA フィルターを備えた掃除機を使用する。ダストが空気中に放出されるのを防ぐ（圧縮空気ですダストを吹き飛ばしたりしない）。
環境に対する注意事項	排水、水路、地面への放出を防ぐ。

7.取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項	ダストが発生する場所には適切な換気を設ける。ダストの発生、蓄積を最小限にする。ダストを吸入しない。眼への接触を防ぐ。長期的な暴露を防ぐ。使用時は飲食、喫煙をしない。屋外または換気の良い場所でのみ取り扱う。適切な保護具を着用する。取扱後はよく手洗いをを行う。産業衛生に気を配る。環境へ放出しない。
安全な保管条件	製品の入っていた容器のまま密閉して換気の良い場所に保管する。混触危険物との接触を防ぐ（第 10 項を参照）。

8.暴露防止措置

許容濃度(暴露限界値)

US. OSHA TableZ-1 Limits for Air contaminants (29 CFR 1910.1000)

成分	タイプ	値
アンチモン (CAS 7440-36-0)	PEL	0.5 mg/m ³

US. ACGIH Threshold Limit Values

成分	タイプ	値
アンチモン (CAS 7440-36-0)	TWA	0.5 mg/m ³

US. NIOSH: Pocket Guide to Chemical Hazards

成分	タイプ	値
アンチモン (CAS 7440-36-0)	TWA	0.5 mg/m ³

生物学的限界値	生物学的暴露限界値は設定されていない。
設備対策	十分な換気を行い、取扱いや熱加工によるダスト、ヒュームが蓄積されるのを防ぐ。
保護具	
眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。
皮膚の保護	
手	適切な耐薬品グローブを着用する。
その他	適切な耐薬品保護衣を着用する。
呼吸器の保護	換気が十分でない場合、適切な呼吸器を使用する。
熱的危険	必要な場合熱保護衣を着用する。
一般的な衛生事項	飲食物から遠ざける。取扱後、飲食、喫煙前の手洗いなど常に衛生に気を配る。作業着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

9.物理/化学的性質

外観	
物質の状態	固体
色	入手不可
臭い	入手不可
臭気限界	入手不可
pH	入手不可
融点・凝固点	630°C推定
沸点、初留点と沸騰範囲	1587°C推定
引火点	入手不可
蒸発率	入手不可
燃焼性(固体、ガス)	入手不可
燃焼または爆発範囲	入手不可
燃焼範囲-下限(%)	入手不可
燃焼範囲-上限(%)	入手不可
爆発下限界(%)	入手不可
爆発上限界(%)	入手不可

蒸気圧	入手不可
蒸気密度	入手不可
相対密度	入手不可
溶解度	不溶
n オクタノール/水分配係数	入手不可
自然発火温度(発火点)	入手不可
分解温度	入手不可
粘度	入手不可
その他の情報	

密度 6.68 g/cm³推定

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は通常の牛用、保管、輸送の条件下で安定で非反応性。
化学的安定度	通常の状態安定
危険有害反応可能性	有害な重合は起こらない。
避けるべき条件	混触危険物質との接触を防ぐ。ダストが空気中に放出されるのを防ぐ。
混触危険物質	酸、強酸化剤
有害な分解生成物	有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報

吸入	吸入すると有害のおそれ。
皮膚	皮膚刺激
眼	直接の眼への接触は刺激を起こす。
飲み込んだ場合	飲み込むと有害。
物理的、化学的、有害性特性に関連した症状	直接の眼への接触は刺激を起こす。
毒物学的影響	
急性毒性	吸入すると有害。飲み込むと有害。

成分	種	結果
アンチモン (CAS7440-36-0)		
急性		
その他		
LD50	Guinea pig	150 mg/kg
	Rat	100 mg/kg

*製品への評価にはデータとして記載されていない成分が含まれている場合があります。

皮膚の腐食/刺激	入手不可
重篤な眼の損傷/眼刺激	入手不可
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	入手不可
生殖細胞変異原性	入手不可
発がん性	
IARC Monographs. Overall	入手不可
Evaluation of Carcinogenicity	
OSHA 特定規制物質	記載なし
(29CFR 1910.1001-1050)	
US. National Toxicology	入手不可
Program(NTP) Report on	
Carcinogens	
生殖毒性	入手不可
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	分類されていない
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	分類されていない
吸引性呼吸器有害性	入手不可

12.環境影響情報

生態毒性

成分	種	結果
アンチモン (CAS7440-36-0)		
水生		
Fish	LC50	Sheephead minnow (Cyprinodon variegatus) 6.2-8.3 mg/l, 96 時間

* 製品への評価にはデータとして記載されていない成分が含まれている場合があります。

残留性/分解性	知られていない。
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響 (例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性) は考えられていない。

13.廃棄上の注意

廃棄手順	本製品を下水/水源に流さない。池、水、溝を製品または容器で汚染しない。内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従
------	---

残余廃棄物/未使用製品	い行う。
汚染容器	地域の規制に従う。空容器には製品が残っている場合がある。 当該製品とその容器は安全に廃棄されなければならない。 空容器の再利用/廃棄には認証を受けた廃棄処理場に持ち込まなければならない。

14. 輸送上の注意

DOT

UN 番号	UN2871
UN 正式品名	Antimony powder
分類	
等級	6.1 (PGIII)
副次危険性等級	-
ラベル	6.1
容器等級	III
使用者への注意	取り扱いの前に本 SDS を読むこと
特別な対策	IB8,IP3,T1,TP33
容器 特例	153
容器 非バルク	213
容器 バルク	240

IATA

UN 番号	UN2871
UN 正式品名	Antimony powder
分類	-
等級	6.1 (PGIII)
副次危険性等級	-
容器等級	III
環境有害性	Yes
ERG コード	6L
使用者への注意	取り扱いの前に本 SDS を読むこと

IMDG

UN 番号	UN2871
UN 正式品名	Antimony powder
分類	6.1 (PGIII)
等級	-
容器等級	III
環境有害性	

海洋汚染物質 No
 EmS F-A S-A
 使用者への注意 取り扱いの前に本 SDS を読むこと

DOT



IATA:IMDG



Marine pollutant



15.適用法令

労働安全衛生法：施行令第 18 条の 2 別表第 9 (名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物) 38

化学物質管理促進法(PRTR 法)： 施行令第 2 条 別表第 1 (第一種指定化学物質) 31

危規則： 第 3 条危険物告示別表第 4 毒物 N-上・下／上・下 等級 3

航空則： 施行規則第 194 条危険物告示別表第 9 毒物 M- 等級 3

16.その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS(121817) : LECO Corporation
JIS Z7253 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法・ラベル、
作業場内の表示および安全データシート
化学便覧 : 丸善
職場のあんぜんサイト : 厚生労働省
NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成 : 平成 13 年 9 月 10 日

改訂 : 平成 22 年 3 月 1 日 (法令見直し)

平成 23 年 7 月 11 日 (住所変更)

平成 24 年 6 月 15 日 (法令見直し)

平成 28 年 7 月 1 日 (書式、法令見直し)

平成 29 年 3 月 28 日 (P/N 変更)

平成 30 年 3 月 9 日 (P/N 変更)

- * 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。
尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。